

授 業 科 目 名	必修・ 選択別	単位数	対象 学年	学 期	曜・限	主に使用 する言語	その他に使用 する言語	担当形態			
ライフサイクル医学コース (小児科)	必修	講義 3	3	2	月～金	日本語	英語	単独 または複数			
【担当教員】 井原健二、脇口宏之（小児科）他											
【科目名の英文】 Life Cycle (Pediatrics)											
【授業の概要・到達目標】 胎児・新生児・乳幼児・小児期から思春期にかけての生理的成長・発達とその異常の特徴および精神・社会的な問題を理解する。											
具 体 的 な 到 達 目 標						医学科ディプロマポリシーとの対応					
						1	2	3	4	5	6
成長と発達											
1. 小児の精神運動発達および心身相関を説明できる。						○			○		
2. 思春期発現の機序と性徴を説明できる。						○				○	
3. 小児の栄養上の問題点を列挙できる。						○				○	
4. 胎児の循環・呼吸の生理的特徴と出生時の変化を説明できる。						○				○	
5. 新生児・乳幼児の生理的特徴を説明できる。						○				○	
6. 小児保健における予防接種の意義と内容を説明できる。						○			○		
検査・治療・診察手技											
1. 小児に対する診断法と治療法の特徴を概説できる。						○		○			○
2. 新生児マスキングを説明できる。						○				○	
3. 小児の検査値の特徴を説明できる。						○		○			
4. 乳幼児と小児の薬剤投与の注意点（薬物動態の特徴を含む）、輸液療法を説明できる。						○					
5. 新生児・小児の一次救命処置を理解し実践できる。						○	○				
6. 遺伝カウンセリングに必要な情報収集ができる。						○	○				
7. 乳幼児健診の意義を説明できる。						○			○	○	
疾患											
1. 新生児仮死、黄疸、呼吸障害など新生児固有の疾患を概説できる。						○					
2. 急性白血病、貧血、血小板減少、血友病の病因、病態、症候、鑑別診断、治療と予後を説明できる。						○					
3. 神経芽腫を概説し、小児腹部固形腫瘍（腎芽腫、胚芽腫、奇形腫）との鑑別点を説明できる。						○		○			
4. 染色体異常症の概説ができる。						○					
5. ネフローゼ症候群、急性糸球体腎炎、慢性腎炎、IgA 血管炎を概説できる。						○					
6. 先天性腎尿路奇形を概説できる。						○					
7. 気管支喘息、食物アレルギーの診断と治療を概説できる。						○					
8. 川崎病の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。						○					
9. 若年性特発性関節炎の病態、症候、診断と治療を説明できる。						○					
10. 先天性免疫不全症の病態、診断と治療を概説できる。						○					
11. 消化器疾患（肥厚性幽門狭窄症、Hirschsprung 病）、腸重積症を概説できる。						○					
12. 便秘症、乳児下痢症、脱水症を説明できる。						○					
13. 低身長をきたす疾患を列挙しその病態生理を説明できる。						○					
14. 先天代謝異常症を概説できる。						○					
15. 小児期の糖尿病の病態、症候、診断と治療を説明できる。						○					
16. 麻疹、風疹、水痘・帯状疱疹、流行性耳下腺炎の症候と診断と合併症および予防法を説明できる。						○					
17. 単純ヘルペスウイルス感染症、伝染性紅斑、手足口病、突発性発疹、咽頭結膜						○					

熱、伝染性単核(球)症を説明できる						
18. 乳幼児突然死症候群を概説できる。	○				○	
19. 児童虐待を概説できる。	○			○		
各 DP への関連度 (計 10)	5	1	1	1	1	1

【授業の内容】

回数	授業項目	授業内容	担当講座・教員	方法
1	小児の成長、栄養	小児の成長、栄養	小児・井原	講義
2	プライマリケア	臨床推論	小児・前田美	講義
3	先天代謝異常症	先天代謝異常症	小児・井原	講義
4	内分泌疾患	内分泌疾患、糖尿病	小児・糸永	講義
5	腎疾患	腎疾患	小児・清田	講義
6	腫瘍性疾患	固形腫瘍	小児・平野	講義
7	細菌感染症	細菌感染症	小児・矢田	講義
8	呼吸器疾患	呼吸器疾患	小児・脇口	講義
9	血液造血器疾患	白血病、貧血、血液疾患、脈管発生異常	小児・後藤	講義
10	消化器疾患	消化器疾患	小児・脇口	講義
11	アレルギー	アレルギー	小児・脇口	講義
12	水・電解質	栄養、脱水症	小児・河野	講義
13	遺伝・染色体異常・奇形	遺伝カウンセリング、染色体異常	小児・井上	講義
14	新生児学総論	新生児学総論	小児・前田知(外)	講義
15	新生児学総論	新生児蘇生	小児・井上	講義
16	新生児学各論	新生児学各論	小児・井上	講義
17	ウイルス感染症	ウイルス感染症	小児・衛藤	講義
18	川崎病・不整脈・起立性調節障害	川崎病、不整脈、起立性調節障害	小児・岸本	講義
19	免疫不全症	免疫不全症	小児・脇口	講義
20	リウマチ性疾患	リウマチ、膠原病、自己炎症性疾患	小児・脇口	講義
21	小児救急	救急、虐待、災害	小児・玉井	講義
22	小児保健	予防接種、事故	小児・佐々木	講義
23	グループ別能動学習	テーマ：新しい新生児スクリーニング検査	小児	能動
24	グループ別能動学習	テーマ：RS ウイルス感染症	小児	能動
25	グループ別能動学習	テーマ：学校検尿	小児	能動
26	グループ別能動学習	テーマ：内分泌緊急	小児	能動
27	グループ別能動学習	テーマ：こどもの成長障害	小児	能動
28	グループ別能動学習	テーマ：先天性心疾患	小児	能動
29	グループ別能動学習	テーマ：小児アレルギー疾患	小児	能動
30	グループ別能動学習	テーマ：生後1か月で注意する疾患	小児	能動
31	グループ別能動学習	テーマ：小児と成人とのリウマチ性疾患の相違	小児	能動
32	グループ別能動学習	テーマ：こどもの医療費	小児	能動
33	グループ別能動学習	テーマ：遺伝性腫瘍	小児	能動
34	グループ別能動学習	テーマ：川崎病、起立性調節障害	小児	能動
35	能動学習	小児科における基本的手技、新生児蘇生	小児	能動

【能動学習（アクティブラーニング）の内容】

症例を基にしたテーマを設定し、全班に能動学習成果を発表させ、教員が解説する。
小児科の基本的手技に関する能動学習を行う。

【その他の工夫】

講義は総論的事項を中心とする。各論は能動学習の発表会で学習する。

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	配布資料にて必要に応じて予習する (24h) グループワーク、発表会準備 (48h)。
事後学修	配布資料や参考文献をもとに復習する (24h)。
想定時間合計	96h

【教科書】	
書名：病気がみえる 小児科、監修：少林寺宏道ほか、出版社：医療情報科学研究所、発行年：2022年10月 ISBN 9784896328783 書名：標準小児科学第9版、監修：原 寿郎 出版社：医学書院、発行年：2022年10月 ISBN 978-4-260-04781-4	
【参考書】	
Nelson textbook of pediatrics, 21th ed. Elsevier 2020 ISBN 978-0-323-52950-1 Up To Date https://www.uptodate.com/contents/search	
【成績評価方法及び評価の割合】	
履修の手引きの「大分大学における学修の成績評価基準等に関する規定」に基づき、評点及び評価基準に従い実施する。 コース最後の筆記試験では系統講義と学習発表会の理解度を確認する（評点：100点満点）。 評価基準の判定は、学習態度（講義と能動学習発表会との出欠状況、能動学習の態度と発表内容などを含む）を参考に行う。	
【注意事項】 講義と発表会の2/3以上に出席していなければ、定期試験を受験することができない。	
【備考】 最終時間割はコース前に配布する。講義や能動的学習にMoodleを用いる。出欠の確認等にMoodleを利用する。	
リンク	URL
教員の実務経験の有無	有
教員の実務経験	附属病院において医師として勤務
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	無
教員以外の指導に関わる実務経験者	
実務経験をいかした教育内容	小児期・周産期の様々な疾患の病態や、その診断法、治療法の講義を行う。
授業形態	対面講義